

大学保健管理センター ご担当者様へ

アンケート調査へのご協力をお願い

国立成育医療研究センターでは、厚生労働省より委託を受け「女性の健康の包括的支援政策研究事業」の一環として「大学における女性の健康支援の各種取組の実態把握アンケート」を実施することとなりました。このアンケート調査は、大学における女子大学生の健康支援・プログラムの取組などに関する情報を収集し、実態を把握するとともに、参考となる事例集等を作成することを目的としております。

* 研究の実施については国立成育医療研究センター理事長及び研究集会代表世話人の許可を受けています。



研究内容



研究期間：倫理審査承認後～2019年3月31日

お願いしたいこと

- * ご協力いただける方はアンケート調査にご回答のうえ、担当者にご提出ください。
- * アンケート調査のご回答で好事例のお取り組みをされている場合、インタビュー調査をお願いさせていただくことがあります。

- * 大学保健管理室の職員の方、約100名を対象に、大学にて実施している女性の健康支援に関する実態をアンケート調査します。本調査で把握した結果は、健康教育の好事例としてまとめます。さらに、女性の健康に関する相談体制構築や各ライフステージに応じた課題に対応するための適切な体制の検討に活用し、女性が生涯を通じた女性の健康の保持・増進のみならず、若い世代の女性にプレコンセプションケアの概念を広げる社会実現の検討につなげます。
- * 研究参加の直接的なメリットはありませんが、今後の女性の健康に関する相談体制構築や各ライフステージに応じた課題に対応するための適切な体制の活用に寄与できます。
- * 研究参加のデメリットとしては、アンケート調査への回答が必要です（10分程度）
インタビューにご協力いただける方には更に10分ほど時間を要します。
- * アンケート調査への参加は自由です。同意されなかった場合でも、不利になるようなことはございません。
- * 参加に同意された後でも、途中でやめたい場合には、いつでも参加を取りやめることができます。
その場合は、アンケートを提出しないでください。
- * 研究計画書や方法に関する資料を閲覧することができます。
- * ご回答頂いた内容は、調査研究の基礎資料としてのみ利用致します。又、全て統計的に処理されますので、個々の調査票のご回答や結果が、調査実施者以外に知られることはございません。ただし、好事例のお取り組みをしている場合のみ、厚生労働省「女性の健康の包括的支援政策研究事業」報告書に、好事例として匿名の状態でご報告・掲載させていただきます。
- * アンケート調査にかかる謝礼・費用は一切ありません。この研究は公的研究費助成を受けて実施しております。

ご不明な点がございましたら、下記<連絡先>までいつでもご連絡ください。

■ 研究組織：

研究責任者：荒田 尚子 周産期・母性診療センター母性内科診療部長

共同研究者：本田 由佳 周産期・母性診療センター母性内科研究員

：岡崎 有香 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科医員

：三戸 麻子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科医員

研究協力機関

慶應義塾大学（責任者：井ノ口 美香子）

研究協力者：井ノ口 美香子 慶應義塾大学保健管理センター 準教授

徳村 光昭 慶應義塾大学保健管理センター 教授

當仲 香 慶應義塾大学保健管理センター 主任

■ 問い合わせ先

<連絡先>

研究事務局責任者

荒田尚子：国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科診療部長

TEL：03-5494-7120（内 7011）Email boseinaika@ncchd.go.jp

※電話問い合わせ時間は、月～金の 10:00～12:00、13:00～17:00 です。